北陸中央病院広報誌　第44号　平成29年7月
財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver.1.1）　JC639-3号、JC639号

あいの風ほくりく

Hokuriku Central Hospital of Japan Mutual Aid Association of Public School Teachers

平成29年7月6日(木)15時より毎年恒例の「七夕のつどい」が開催されました。村田看護師長の明るく元気な司会のもと、清水病院長から「皆さんも一緒に歌いましょう。」との掛け声で、「七夕さま」、「花は咲く」など6曲を熱唱されました。お年寄りの方々にも馴染みのある曲なので、手拍子や口ずさんだりして楽しんでおられたようです。 その後、石動高等学校吹奏楽部の生徒さん18名による演奏が行われ、アニメ「となりのトトロ」、「津軽海峡冬景色」など4曲演奏され、あっという間の楽しい時間でした。最後に4月に新しく就任した佐伯看護部長の挨拶で閉会となりました。

「人間愛に基づいた医療を通じて社会に貢献します。」

基本方針
1. 安全には細心の注意を払い、安心の医療に努めます。
2. 心のふれ合いを大切にし、人権を尊重します。
3. 情熱と生き甲斐を持ち、常に前進を図ります。
4. 小矢部市の中核病院として急性期と地域医療の共存を果たします。
5. 公立学校共済組合員や地域の方々の健康管理事業に力を注ぎます。
6. 健全な経営に努めます。

椎体骨折の治療法

バルーン カイフォプラスティーについて

北陸中央病院
整形外科部長 池渕 公博

骨粗しょう症と椎体骨折

高齢者の割合が多くなり、食生活や、生活様式がかわり、骨粗しょう症の患者さんは増加するばかりです。

「骨粗しょう症」とは、骨の強度が下がり骨折しやすくなる骨の病気です。

60歳以上の女性の3人に1人、80歳以上では2人に1人が治療を要する骨粗しょう症であるといわれています。

骨粗しょう症による骨折で一番多いのが背骨の骨折で、柱となる椎体がつぶれる「背椎圧迫骨折（椎体骨折）」です。椎体骨折が起こると背骨がつぶれることにより背中が曲がります。

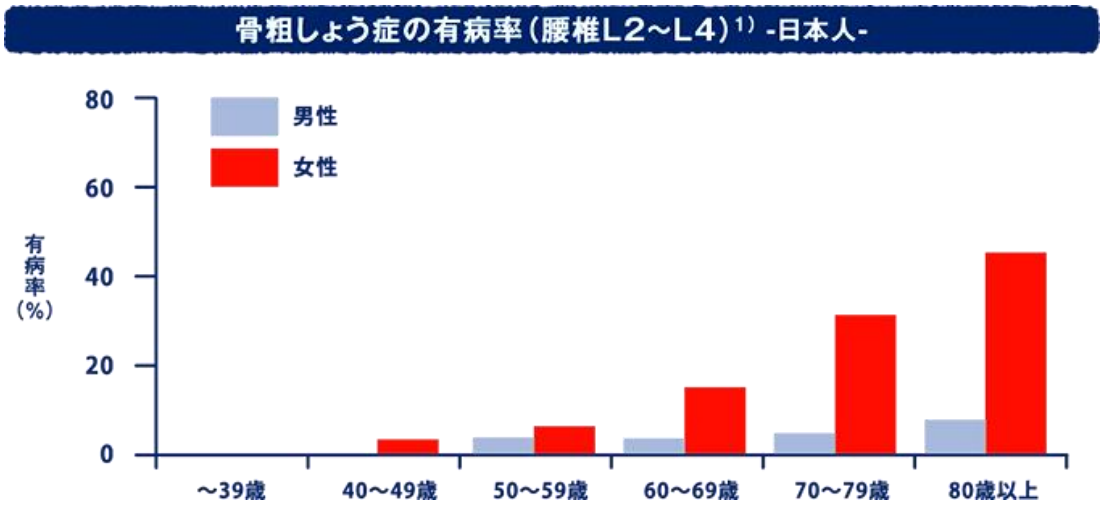
１つの背骨がつぶれると他の背骨の負担も増えることになり、2つ目の骨折のリスクが5倍以上になることがわかっています。そして3つ４つと骨折がすすむため、骨折連鎖とかドミノ骨折といわれます。いろいろな合併症を生じやすくなるため日常生活に支障をきたすだけでなく死亡率も高くなることがわかってきています。

椎体骨折後の経過

椎体骨折は起き上がる際にはとても痛いけれども、体を起こしてしまうと痛みが軽減する場合があり、結果として骨折部の安静が保たれず、なかなか治らない原因となります。

また、骨折が癒合するまで痛みのために生活動作能力（ADL）が極端に悪くなるため、筋力や内臓機能の低下を引き起こしたり、認知症の進行や歩行能力の低下のために介護が必要になるケースもしばしば認められます。

また、つぶれて癒合するために腰が曲が



り、姿勢やバランスの悪化によって転倒しやすくなります。これが次の椎体骨折やより重症の大腿骨近位部骨折の原因となります。

手足の骨折はきちんと整復・固定するけれども、背骨の骨折は何とか癒合さえしてくれれば潰れてしまってもやむなしとされてきたところがあります。

バルーンカイフォプラスティー

2011年から、椎体骨折がなかなか治らない場合や、臥床期間や変形を最小限にとどめる目的で、バルーンカイフォプラスティーという手術が保険適応となりました。

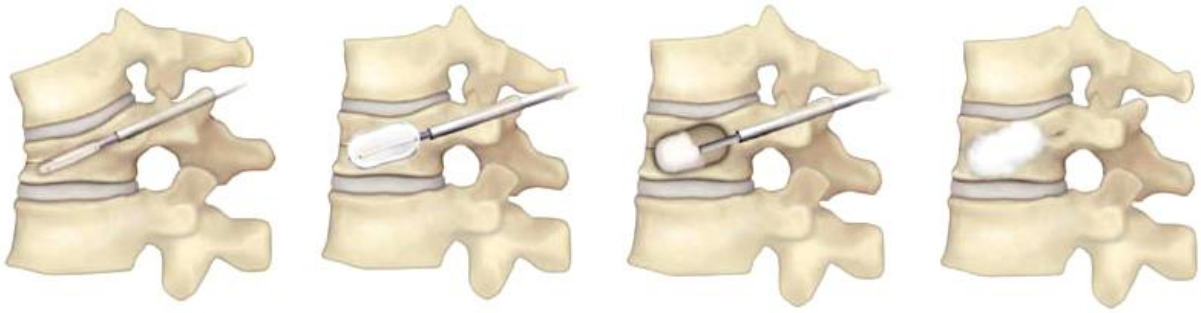
これは、椎体骨折治療専用に開発されたバルーン（風船）や骨セメントを用いて、骨折した椎体を固定する治療法です。骨セメントを正確に骨折した椎体内に注入することで約10分で骨折部が固定され、劇的に痛みがなくなり、手術翌日から歩行が可能となります。

実は以前から同様の治療は行われていましたが、不用意に行うとセメントのもれやセメントが血管内に流れ込むなどの合併症がありました。現在では、脊椎外科の専門医がトレーニングを受けた上で行うこととなっており、手術の安全性は格段に高まりました。高齢者では数週間の臥床を強いられることは予想以上にリスクがあり、この新しい治療の恩恵を受けられる方が今後更に増えると思われます。

さいごに

様々な病気でいえることですが、椎体骨折においても早期診断・早期治療が最善の結果につながります。このような治療とともに、骨粗しょう症の診断・治療をあわせて行っていくことで、寝たきりや介護が必要になる患者さんを減らすことができると考えています。

当院では、椎体骨折に対する手術以外の治療を含めて総合的に診断・治療を行っていますので、動くと強く痛む腰痛や長引く腰痛、身長が低くなったり腰が曲がってきたという症状をお持ちの方はぜひ整形外科を受診してくだされば と思います。



つぶれた椎体内部でバルーンをふくらませ、椎体の形を整えた上で骨セメントを注入、骨折部を固定する

（前から見た写真）

（横から見た写真）

手術中のX線写真：造影剤でバルーンをふくらませているところ

手術の傷

北陸中央病院「看護の日」

毎年5月12日は「看護の日」です。（近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、制定されました。）5月7日から13日までを「看護週間」とし、当院では11日（木）9時から11時まで、外来エントランスホールにおいて、「1日まちの保健室」を開催しました。ホールでは、小矢部市の保健師さんや当院のフットケアチームが協力し合い、「血圧・体脂肪測定」「看護・介護相談」などの健康チェックと、フットケアを行いました。 今年は、昨年の28名を上回る36名もの方が体験され、フットケアには、順番待ちの方も出るほど盛況でした。

5月11日「北中看護の日」

気持ちいい！と評判の「フットケア」

石動青葉保育園の慰問

平成29年6月16日、キリスト教の「花の日」に合わせて、石動青葉保育園ゆり組（年長）8名の園児が来院しました。園児たちは病棟で、「手をたたきましょう」や「グー・チョキ・パーで何作ろう」の歌に合わせて患者さんと握手をしたり、また、患者さんの肩をトントン叩きながら元気よく歌ってくれました。最後に、園児から患者さん一人ひとりに手作りの栞を手渡すと、患者さんも「ありがとう。」と優しい笑顔で声をかけておられました。

患者さんに花束を贈ります

園に咲いていた花を栞にしてくれました

手遊び歌「グー・チョキ・パー」

社会に学ぶ「十四歳の挑戦」

小矢部市と高岡市の中学2年生による社会に学ぶ「14歳の挑戦」が、各事業所で始まり、当院にも市内3つの中学校から9名の生徒さんが7月4日・6日・7日の3日間、福岡中学校から11名の生徒さんが7月10日・13日・14日の3日間、職場体験に訪れました。この体験の目的は「職場体験活動を通して、いろいろな課題を乗り越えるたくましさを身につける」です。

初日は、オリエンテーションや自己紹介、院内見学、2日目以降は3グループに分かれ、病棟・手術室・リハビリテーション・放射線科・検査科・インフラ管理部門での仕事を体験しました。各部門のスタッフから、携わる職業の意義、日頃の仕事について説明を受けたり、シーツ交換や患者さんの移送などをスタッフと一緒に行いました。

放射線科X線TVの説明

検査科での説明

エネルギー棟ボイラー室にて

高校生の1日看護体験

7月5日、7月12日に「高校生の1日看護体験」が当院にて行われました。本研修の目的は高校生が看護業務と看護についての理解を深め、看護職への進路選択の参考にしてもらうためです。

患者さんとのふれあいや先輩看護師からのアドバイスを聞く事は、進路を考える上で良い機会になったようです。高校生からは「大変だけれど、やりがいを感じます。」と言う意見が多く聞かれました。

当院の行事食

当院では季節ごとの行事にちなんだ「行事食」を入院患者さんにお出ししています。今回は8月から10月までの「行事食」を紹介します。

８ 月　山の日、旧盆
９ 月　中秋の名月、敬老の日、秋分の日
10 月　開院記念日、体育の日

秋分の日
（お彼岸）
おはぎのお米（餅）は五穀豊穣を願い、小豆は魔除けを意味すると言われています。

開院記念日（10月1日）
当院は新築移転後,今年で17年目を迎えます。富山県の郷土料理である昆布〆を提供しています。

体育の日
「スポーツにしたしみ、健康な心身をつちかう日」と言われています。

新規採用職員紹介

平成29年5、6月に新規採用された職員を紹介します。

■ **渡辺　祥平　言語聴覚士**

趣味：映画鑑賞、散歩

5月から勤務させていただいています。一人前の言語聴覚士になれるように日々努力していきたいと思います。

■ **広田　絢音　臨床検査技師**

趣味：旅行、映画鑑賞

6月から勤務させていただくことになりました。1日でも早く戦力になれるよう頑張ります。
よろしくお願いします。

※ 8月1日からの担当表です。

外来医師担当表

			月	火	水	木	金	備考	受付時間 再来受付機　7：30～
内科 初診	1診	午前	若林	中屋	武藤	宮元	藤堂	※ 変更箇所は青字です。	8：30～11：30
	2診		藤堂	大家	林	藤堂	宮元		
	3診		宮元	中川	馬渕	若林	中屋		
	4診		丹羽	宮元	萩下	萩下	武藤		
	1診	午後	中屋	若林	宮元 (萩下)		萩下		11：30～15：00
	2診					宮元			
	3診		宮元	宮元		神原	宮元		
	4診					武藤			
神経内科		午後					赤木	・完全予約制 ・診療場所：内科外来	11：30～15：00
外科		午前	守屋	亀水	亀水	守屋	亀水	・岩瀬医師の診療は 木曜日の9:30～10:30	8：30～11：30
			清水 (呼吸器外科)	清水 (呼吸器外科)	清水 (呼吸器外科)	清水 (呼吸器外科)	清水 (呼吸器外科)		
						岩瀬			
		午後	手術	手術	手術 大腸検査	禁煙外来 大腸検査	手術 大腸検査	・木曜午後の禁煙外来は予約制 (内線：1132)	
整形外科		午前	池渕 青木	池渕 青木	池渕 青木	池渕 青木	池渕 青木	・午前中のみ診療	8：30～11：30
		午後	― 手術・検査 ―						
婦人科	1診	午前	井浦	井浦	井浦	井浦	井浦	・月～金 妊婦健診実施	8：30～15：00
	2診			石多					
	1診	午後	井浦	井浦 手術	井浦	井浦	井浦		
小児科		午前	野上	野上	野上	野上	野上		8：30～16：30
		午後	野上	野上	野上	野上	野上		
眼科		午前	検査 (第1.3.5)	増田	手術 (第1.3.5)	増田	増田	・検査の時間帯は予約制で診療あり	火・木 8：30～11：30 金 8：30～15：00
		午後	手術	検査		検査	増田		
耳鼻咽喉科		午前	丸山	丸山	丸山	丸山	丸山		月・火・金 8：30～15：00 水・木 8：30～11：30
		午後	丸山	丸山	手術	検査	丸山		
泌尿器科		午前		澤田	金沢大学 医師	金沢大学 医師		・隔週水曜日：泉医師、成本医師 ・毎週木曜日：泉医師	8：30～11：30
		午後		手術・検査					
歯科口腔外科		午前	式守	式守	式守	式守	式守	・予約制 受診前にご連絡ください	8：30～15：00
		午後	式守	式守	式守	式守	式守		
脳神経外科		午後			中尾			・完全予約制	11：30～15：00
皮膚科		午前	加納			竹原教授			月 8：30～15：00 木 8：30～11：30
		午後	加納						
麻酔科		午前	二上	二上			二上	・午前中のみ診療　予約制	9：00～11：30

※ 毎週木曜日午後に禁煙外来を行っています。
※ 毎週水曜日 10:00～12:00 補聴器相談を行っています。
※ 看護相談、介護相談は地域医療連携センターにおいて、
平日8:30～17:00　受付しています。

地域医療連携センターだより

本コーナーでは、当院と連携をしていただいている小矢部市の施設をご紹介しています。

デイサービスセンター心楽

管理者　前田 由美

住　所　〒 932-0047　小矢部市城山町2番42号

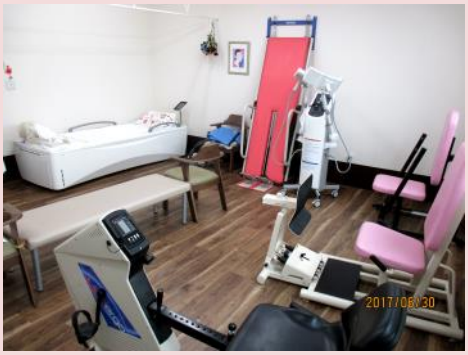
電話番号　☎ 0766-67-6611

当事業所は、定員10名の地域密着型通所介護事業所です。

要支援・要介護と認定された方が自宅で可能な限り自立した日常生活を営むことができるように、入浴・食事・排泄などのお手伝いをさせていただいています。

お一人おひとりの「自分らしく」の思いに寄り添い、午前中の個別活動である塗り絵・脳トレプリント・裁縫・園芸活動、また、午後からの活動であるお菓子作り・レクリエーション活動などを通して、人とのふれあいや仲間作りを楽しみながら明るく元気に毎日を過ごすことができるようサービスの提供を行っています。

また、お花見ドライブや外食会、石動曳山祭りの見学、つくりもん祭りなどの外出の機会も多く行っています。さらに、地域に根ざした事業所として、地域の園児たちとの交流やボランティアの受け入れも行っています。毎月第2土曜日の「オレンジカフェ(認知症カフェ)」の開催などをしていますので、気軽にお越しください。お待ちしています。



花かごデイサービス・ショートステイ

管理者　宮窪　勇太

住　所　〒 932-0022　小矢部市桜町1800番地

電話番号　☎ 0766-68-0555

当事業所は１階デイサービス（定員30名）と２階ショートステイ（定員18名）となっています。車いすの方でも安心して利用して頂けるよう座ったままでも入浴できる特浴もございます。

花かごはリハビリに力を入れており、階段昇降訓練や様々な器具を使った運動を行い、その中でも水の力で身体をほぐす『ウォータマッサージ機』が大変人気です。ご利用者様が困難になってきている日常生活を行う上で必要な動作（例えば椅子からの立ち座りや歩行動作など）をリハビリスタッフが共に考え運動プログラムを作成しております。今まで車いすで移動されていたご利用者様が施設でもご家庭でもリハビリを重ね、杖を使用し１人で歩けるようになった時は本当に嬉しくスタッフの励みとなりました。

デイサービスとショートステイの方が一緒に楽しめる行事も定期的に行っております。今年の春には滝の流れる庭でお茶会をしたのが好評でした。

これからもご利用者様同士の繋がりを大切にし、１人１人の楽しみをサポートできる施設を目指していきます。

北中ミニとぴっくす

６月27日（火）春季防災訓練を行いました。当院ではいざという時に備え、年2回の防災訓練を行っています。今回の訓練は新入職員を中心とした避難誘導訓練、防災設備等の取扱いについて行いました。また、各部署でも防災対策マニュアルの確認をして防災意識の向上をはかっています。

時間外出入り口付近に新しく設置された自動販売機は、災害時に非常用飲料として無償で提供されることになっています。

北陸中央病院広報誌

あいの風 ほくりく

第44号　平成29年7月

編集：広報委員会あいの風ほくりく編集部

発行：清水　淳三

〒932-8503 富山県小矢部市野寺123

TEL(0766)67-1150（代表）

http://www.kouritu.go.jp/hospital/hokuriku/